

2022年6月27日

電通ジャパンネットワーク、DE&I 推進を支援するワークショップ型ソリューション 「ココカラ ジャーニー」を提供開始

— 社会の DE&I 推進に向けた企業の取り組みの加速に貢献 —

電通グループの国内事業を統括・支援する電通ジャパンネットワーク（本社：東京都港区、社長執行役員 CEO：榎谷 典洋）が取り組む国内事業全体の DE&I^{※1} 推進プロジェクトにおいて、株式会社電通の組織横断型専門タスクフォース「電通ダイバーシティ・ラボ^{※2}」は、社会課題の解決に取り組む特定非営利活動法人ミラツクの監修により 243 の DE&I 課題をまとめたカード型ツールを活用し、企業の DE&I 推進を支援するワークショップ型ソリューション「ココカラ ジャーニー (cococolor journey)」を本日より提供開始します。

電通グループは中期経営計画の1つの柱として「ソーシャルインパクトと ESG」を掲げており、電通ジャパンネットワークおよび傘下の各事業会社（合わせて、以下「DJN」）では、「DE&I の推進」を自社グループのみならず国内の企業・団体、社会に対するソリューション提供の観点からも重要なテーマであると捉え、積極的に取り組んでいます。「ココカラ ジャーニー」はその取り組みの1つであり、ワークショップを通じて企業の DE&I 活動を支援するソリューションです。

近年、ジェンダー・障がい・LGBTQ+・多文化共生などへの関心の高まりを受け、企業においても、DE&I 領域の社会課題への取り組みが加速しています。さまざまな社会課題に対して統合ソリューションを提供する DJN では、これまでも多くの顧客企業・団体からの相談や要望にお応えし、解決のための助言や提案などの支援を行ってきました。特に、電通ダイバーシティ・ラボでは、2013 年に「多様性」をテーマとするウェブマガジン「cococolor (ココカラー) ^{※3}」を創刊し、DE&I 領域における企業・団体・個人が抱える課題や、その解決に向けた先進的な取り組みを取材し記事化してきました。

今般、電通ダイバーシティ・ラボは、ミラツクとともに、「cococolor」に蓄積された知見をデータベース化し、243 の課題を抽出してカード化しました。「ココカラ ジャーニー」では、このカードを活用したワークショップの実施により、社員の DE&I に関する基礎知識の習得と理解の促進、また自社課題の特定や、その解決に向けたヒントの獲得、アイデアの創出といった多様性社会の実現に向けた企業の活動をサポートします。さらに、企業によるアクションの策定・実施についても、電通ダイバーシティ・ラボが「cococolor」の運営を始めとする様々な活動を通して築いたネットワーク（企業・団体・個人）によるマッチングや協業を通して支援していきます。

今後も DJN は、電通ダイバーシティ・ラボを中心に、企業の DE&I 領域の取り組みに関するコンサルティングと実行支援を通じて、インクルーシブ社会の実現と電通グループの企業価値の向上に貢献していきます。

< 「ココカラ ジャーニー」 のロゴ >



< カードイメージ (5つの各カテゴリーに該当するカードの一例) >

D. 当事者にとっての選択肢が少ない

福祉機器は
選択肢が少ない

たとえば
福祉機器の選択肢が少なくなってしまう
要因はどこにあるのだろうか？

D

できていない社会の課題

A. 多様性への取り組みの重要性が理解されない

多くの人に何らかの
多様性課題があるはずなのに
気づかれていない

多様性への
取り組みの重要性が
理解されない

たとえば
自分や家族、周りの友人が生活の中で、何
かしらのインクルージョン課題に直面して
いたりはないだろうか？

A

見えていない社会の課題

B. 問題やニーズを周囲に伝えるのが難しい

問題やニーズを
周囲に伝えるのが
難しい

自分の障害や困りごとを
伝えるのが難しい

たとえば
一目見ただけでは分からない障害のある
人にどんな配慮ができるだろうか？

B

当事者の課題

B. イノベーションが起きづらい職場環境である

イノベーションが
起きづらい
職場環境である

たとえば
ダイバーシティへの取り組みについて、知識
を持っているところと、実行力を持っている
ところはそれぞれどこにあるだろうか？

B

企業のインナー課題

B. ビジネスでの多様性対応には限界がある

ビジネスでの
多様性対応には
限界がある

あらゆる人にフィットする
一つのものとは作れない

たとえば
様々な特徴を持つ人たちが誰でも使える
ような商品・サービスを作るには、どんな
やり方があるだろうか？

B

企業のビジネス課題

※1:「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」の略。社会における人々の多様性（ダイバーシティ）、公平性（エクイティ）、包摂性（インクルージョン）に関する課題と、それを高める対策のことを指す。

※2: 電通ダイバーシティ・ラボは、2011年に創設。ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン視点で、自社と顧客の双方に対するソリューションの開発・提供を推進する電通の組織横断型専門タスクフォース。「ジェンダー」「障がい」「多文化」「ジェネレーション」の4つの主要テーマを中心に、20ほどの独自プロジェクトを約100名のメンバーで推進している。独自の調査・研究および外部の専門家・研究機関・当事者団体などとの協働を通じて、各種ソリューションの開発・提供、情報発信を行っている。

<https://dentsu-diversity.jp/>

※3: cococolor（ココカラー）は、電通ダイバーシティ・ラボが運営するDE&Iをテーマにしたウェブマガジン。「障がい」「ジェンダー」「LGBTQ+」「多文化・グローバル」などの切り口で、国内外の企業、団体、個人の先進的な取り組みや掘っておきたい動きを紹介している。2013年の創刊以来、600本以上の記事を公開（2022年5月時点）。

<https://cococolor.jp/>

【NPO法人ミラツク概要】

名 称：特定非営利活動法人ミラツク

代 表 者：西村 勇哉

所 在 地：京都府京都市下京区朱雀正会町1-1

事業内容：・異なる立場、業種、地域、セクターの実践者による共創を生み出すプラットフォームの構築

・フィールドワークやインタビューによる質的データを中心にイノベーション創出のための情報基盤を生成

・情報、アイデア、ネットワークを生かして未来構想の実現を支援

U R L：<https://emerging-future.org/>

以 上

【事業に関する問い合わせ先】

電通ジャパンネットワーク サステナビリティ推進オフィス

Email：sustainability@dentsu-group.com

株式会社電通 電通ダイバーシティ・ラボ 林、鈴木

Email：diversity@dentsu.co.jp

【リリースに関する問い合わせ先】

電通ジャパンネットワーク コーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、佐藤、松永

Email：group-cc@dentsu-group.com

電通ジャパンネットワークでは、新型コロナウイルス対策の一環として、現在リモートワークを実施しておりますので、同期間のお問い合わせは、Eメールにてお願いいたします。